

2018年5月第1回理事会議事録

日 時：2018年5月12日（土）13：00～15：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・菊池誠一
・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和夫・杉井 健・関根
達人・都築恵美子・新納 泉・橋本裕行・堀内秀樹・宮本一夫・矢島國雄・長瀬
衛、監事：唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：石川日出志・岡内三眞・瓦吹 堅

進 行：新納 泉

議 長：谷川章雄

新納理事から、本日の出席者は23名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

新納理事から、東京都の森田信博会員が2018年4月27日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第465号 2017年度決算について

都築理事から、2017年度決算は、旅費交通費等の支出が抑えられた結果、2018年度への繰越収支差額が予算額より増額になったものの、収入において当該年度の未収会費が318万円あるとの説明があった。また、特別会計の平成28年熊本地震募金の収支決算書が提示された。

続けて唐澤監事から、5月9日（水）に監査を実施し、2017年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。講評として、各委員会報告の提出遅延の是正、国庫補助を受けている事業の計画的な執行、会費未納逝去会員の会費の取扱いについての指摘があり、改善が求められた。

審議の結果、監事からの指摘事項については改善に向けて検討することとし、当該年度未収会費については、会員に一層の前納制の協力を求めていくことで、2017年度決算及び監査報告については原案通り承認した。

議案第466号 2018年度予算（修正案）について

都築理事から、①国庫補助金の交付が内定したことを受け、補助金収入の予算額を交付決定額とし、合わせて、旅費交通費・支払手数料の金額を修正した。②2017年度決算を受けて、繰越収支差額を確定額とし、また、2017年度補助金の返還額を雑費支出に加え、3月理事会議案第461号で承認された2018年度予算を修正したとの説明があり、原案通り承認した。

議案第467号 事務処理規定・別表2（会務）一部改正について

近藤副会長から、事業が増加及び多方面にわたってきたことから、会務分掌を整理し、それぞれの会務担当の総務理事を現在から1名増やして5名体制としたいとの説明があり、原案が提示された。審議の結果、一部修正の上、新たな会務体制を承認し、次期理事会から新たな理事会構成とする。

議案第468号 社会科・歴史教科書等検討委員会委員の選考について

佐々木和博理事から、現委員の退任に伴う委員公募の結果、期日までに3名の応募があった。また、日本考古学協会規則第29条第1項に基づき、佐藤誠会員の1期の任期延長を求め会長から承認を受けているとの説明があり、審議の結果、新規委員3名及び重任1名の選出について、原案通り承認した。

議案第469号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選考について

小笠原理事から、岩手県を除く都道府県の委員名簿が提示され、新規委員及び会長承認の重任委員について説明があり、審議の結果、原案通り承認した。なお、岩手県の委員は選考中であり後ほど追加推薦を行う予定である。

議案第470号 沼津市高尾山古墳保存に関する道路の整備方針について

篠原理事から、沼津市高尾山古墳の保存問題のこれまでの経緯についての報告があり、会員から、第84回総会において高尾山古墳の保存への取組み及び整備方針について紹介したいとの要望があるとの説明があった。審議の結果、総会実行委員会とも検討し、受付が設置される明治大学リパティタワーのホールは混雑するためポスターの設置は難しいこと、また総会直前の変則的な申し出であることからチラシ等の配布であれば対応することとなった。

議案第471号 引継ぎ準備会について

谷川会長から、新理事会への引継ぎを迅速に行うために、新理事候補者の引継ぎ準備会を開催するとの説明があり、第84回総会後の新理事会組織案が提示され、意見が求められた。なお、第84回総会において承認を受けられなかった場合は、改めて各理事の担当案を検討することとする。

議案第472号 退会の承認について

佐々木和博理事から、岩手県の*会員、茨城県の*会員、東京都の*会員、大阪府の*会員、兵庫県*の*会員、奈良県の*会員、島根県の*会員、福岡県の*会員の8名から2017年度をもつての退会届、北海道の*会員、岩手県の*会員、山梨県の*会員、愛媛県の*会員の4名からは2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第631号 第84回総会について

小澤理事から、「総会実施要項」に基づき、日程並びに理事の役割分担の確認があった。また、総会実行委員会の矢島理事から補足説明があり、了承した。

報告第632号 2017年度事業の総会口頭報告について

橋本理事から、第84回総会における2017年度事業報告の各委員会報告説明原稿の提示があり、了承した。また、未提出の委員会については、事前の提出が求められた。

報告第633号 2018年理事選挙について

久保田理事から、4月7日（土）に第3回選挙管理委員会を開催して開票作業を行い、23名の理事と次点者1名を選出したこと、投票率は28.2%であったとの報告があり、了承した。

報告第634号 2018年度新入会員について

佐々木和博理事から、正会員については、正会員資格基準該当者に対し、会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2018年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数49名、うち3名が資格基準に該当せず、46名が内定者となった。また賛助会員のうち、法人会員については会員資格基準該当者に対し、会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2018年度新入賛助会員の入会審査は、法人会員3団体、フレンドシップ会員16名、学生会員17名が内定となり、5月26日の第84回総会にて承認を受けるかたちとなったことが報告され、了承した。

報告第635号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

矢島理事から、70周年記念の各事業の進捗状況について説明があり、①学術刊行物『日本考古学・最前線』は榊山閣から出版予定で、提出された原稿について編集委員会で順次確認を行っている。②機関誌『日本考古学』第47号（70周年記念号）について、編集委員会を開催し、提出原稿の内容確認を行い加筆修正を依頼した。③11月3日（土）に静岡市登呂博物館で開催予定の公開講演会について企画概要が提示された。④永年在籍会員の表彰については、表彰状見本が提示され、各事業の状況について、了承した。

報告第636号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、2018（平成30）年度以降5年間の科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）の交付内定を受けたとの報告があった。交付内定を受け、今年度事業の反省を踏まえて投稿・採用論文の増加に努めるために、今年度以降の事業計画として、総会時等に国際シンポジウムを実施し、発表内容を『Japanese Journal of Archaeology』に掲載する予定である。今年度は、70周年記念事業と位置づけ、静岡大会の10月20日（土）午前中にプレナリーセッションとして実施するとの説明があり、了承した。

報告第637号 陵墓報告

杉井理事から、4月1日（日）に陵墓関係16学協会運営委員会が開催され、立入り観察を求める陵墓の第三次リスト案を作成した。今後、全体会議に諮り、今年度中に提出する予定であるとの報告があり、了承した。

報告第638号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、4月15日（日）に委員会を開催し、①第84回総会におけるセッション・ポスターセッションについて、検討及び確認を行った。②今年度の事業計画として、文部科学省への教科書に関する意見の直接対応の方法について、考古学成果の学校教育への活用について検討していくことを協議したとの報告があり、了承した。

報告第639号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、4月21日（土）に委員会を開催し、①3月20日（火）に実施した文化庁との面談について報告を行った。②坂東市神明遺跡について、保存要望書を提出する準備をすすめているとの報告があり、了承した。

報告第640号 会員資格の喪失について

都築理事から、2015年度～2017年度会費30,000円の滞納により下記の3名が会員資格を喪失したとの報告があり、了承した。なお、滞納会費の督促については継続する。

（福井県）、（島根県）、*（長崎県）

その他

（1）島根県西部を震源とする地震に係る被害状況等について

杉井理事から、島根県西部地震に係る文化財の被害状況について説明があり、災害対応委員会としても今後状況の把握に努めていくとの報告があった。

（2）高校生ポスターセッションについて

岡山理事から、第84回総会における高校生ポスターセッションにおける記念品の書籍の寄贈が、各理事に求められた。

以 上